

平成29年度の試験課題と予測課題との検証結果

【2級建築士 平成29年度 設計課題：家族のライフステージの変化に対応できる三世帯住宅(木造2階建て)】

【研究会の予測課題が試験課題に対して80%以上の的中したかの検証結果】

- ・**結論**：予測課題は、表1と表2の通り、**ほぼ80%以上**的中したと判断できる。⇒大きく異なったのは「多目的室」を予測できなかったことである(多目的室は計画の要点等でも出題された)。
- ・**敷地**は、方位条件として、試験課題が西側道路に対して予測課題が北側道路であった。ただし、1面道路は同じ条件なので、動線を北から西へ変更することで、容易に解答することができた。
- ・**外壁仕上**は、試験課題が「乾式工法」であり、研究会が乾式工法である「外壁用サイディング」を提示したので、そのまま書くと正解となる。
- ・**延べ面積**は、試験課題が「170㎡以上、210㎡以下」であり、研究会予測が「180㎡以上、220㎡以下」とほぼ範囲内であった。
- ・**要求室**の1階は、表1の通り、「多目的室」以外は全要求室を的中した。また、2階は、全ての要求室が予測課題としての中することができた。
- ・**屋外施設**は、試験課題で出題された「家庭菜園」を予測できなかった。研究会が予測したのは、「屋外テラス」であったので、この点は異なった。
- ・**表1**と以上により、敷地、外壁使用、延べ面積、要求室、屋外施設については、概ね「多目的室」以外は、ほぼ的中したと言える。
- ・**計画の要点等**は、表2の通り、1問目以外は、的中させることができなかった。こちらでも多目的室が出題されたので、要求室と計画の要点等でダブルで予測できなかった。
- ・**全体**としては、ほぼ8割は的中したと言えるが、「多目的室」を的中できなかったこと、およびその影響による「計画の要点等」の多目的室と、駐車場・屋外スロープを的中できなかった反省点もあった。

表1 本試験課題と予測課題との要求室等の比較

出題元	敷地				外壁仕上 指定仕様	延べ面積 以上、以下	要求室																屋外施設							
	規模 (㎡)	横 (m)	縦 (m)	方位条件				1階								2階								家庭菜園 屋外物置	屋外テラス	屋外スロープ	駐車 (台)	駐輪 (台)		
				東			西	南	北	玄関	居間	食事室	台所	浴室	洗面脱衣室	便所	納戸	親夫婦寝室	多目的室	子供夫婦寝室	子供室	台所	浴室						洗面所	便所
試験課題(センター)	289	17.0	17.0	隣地	道	緑地	隣地	乾式工法	170㎡以上、210㎡以下	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	2	3
予測課題(研究会)	272	16.0	17.0	隣地	隣地	緑地	道	外壁用サイディング(乾式工法)	180㎡以上、220㎡以下	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	1	3

表2 本試験課題と予測課題との計画の要点等の比較

試験課題(センター)	① 居間、食事室の計画について、同居する家族全員が集うことのできるようにするに当たって、工夫した点	研究会予測 ⇒ 居間の計画について、工夫したこと
	② 多目的室の配置計画について、工夫した点	研究会予測 ⇒ 予測できなかった
	③ 駐車スペース、屋外スロープの配置において工夫した点	研究会予測 ⇒ 予測できなかった